

【参考】広島高速道路の収支見通しの概要

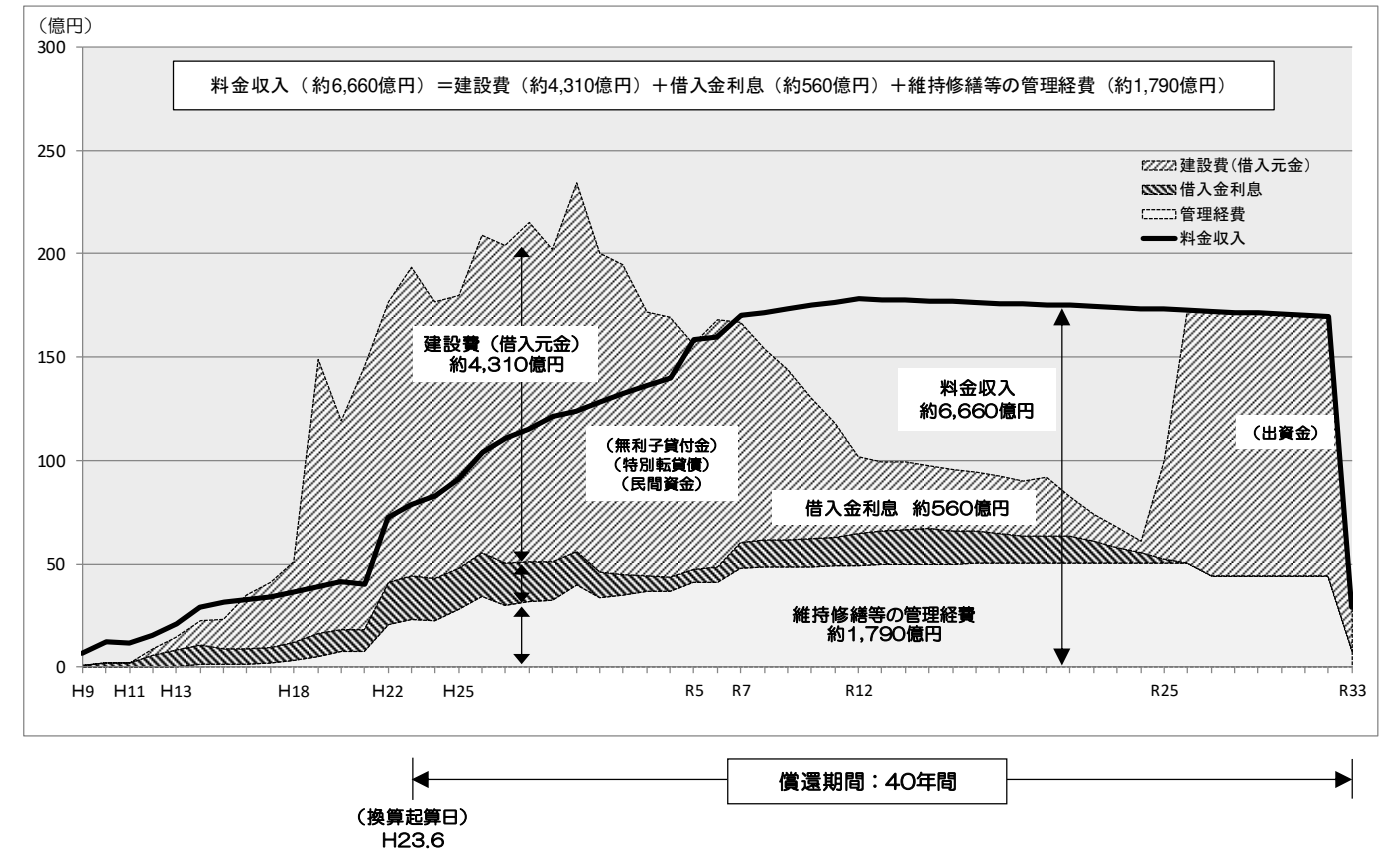
指定都市高速道路事業の収支計画は、高速道路の建設費、建設等に要する借入金の利息及び供用開始後の維持修繕等に要する管理費用の総額を、一定期間内の通行料金収入で償還できるよう作成します。現時点における、広島高速1号線から5号線についての収支計画の概要は、次のとおりです。

なお、料金額や料金徴収期間等は、建設が終了し供用開始を行う前に、国土交通大臣の認可を受けて確定するものであり、現時点における収支検討のために目安として設定したものです。

○ 収支計画総括表

項目	第5回整備計画変更の内容	〈参考〉 前回整備計画の内容
総料金収入	約 6,660 億円	約 6,418 億円
○ 全線の供用開始年度	令和7年度	平成33年度
○ 全線供用開始時の交通量	約 9.7万台/日	約 9.5万台/日
○ 全線供用開始時の料金額の水準	普通車1台あたり 100円～730円 (対距離制、消費税10%)	普通車1台あたり 100円～720円 (対距離制、消費税8%)
○ 料金徴収満了日	換算起算日 ^{注1)} から40年後 (H23.6)	換算起算日 ^{注1)} から40年後 (H22.1)
総支出	約 6,660 億円 ^{*2}	約 6,418 億円
建設費 ^(注2)	約 4,310 億円	約 4,000 億円
借入金利息	約 560 億円	約 817 億円
維持修繕費等の管理経費	約 1,790 億円	約 1,601 億円

収支計画概念図



注1) 換算起算日

各路線の供用日を各路線の事業費で加重平均して求めた平均的な供用日である。

注2) 建設費の財源内訳

項目	内訳	償還条件	〈参考〉 前回整備計画での 建設費の内訳
建設費	約 4,310 億円		約 4,000 億円
国の無利子貸付金 (県・市が1/2ずつ債務保証)	約 1,381 億円	20年償還 (5年据置)	約 1,272 億円
出資金 (県・市が1/2ずつ出資)	約 950 億円	料金徴収期間内に償還	約 872 億円
特別転貸債 (県・市が1/2ずつ貸付け)	約 1,205 億円	20年償還 (元金は5年据置)	約 1,128 億円
民間借入金 (県・市が1/2ずつ債務保証)	約 774 億円	5年償還 (元金は4年据置)	約 728 億円